

# 今連盟だより

第6号

昭和61年11月1日

発行 静岡県家庭婦人バレー部連盟事務局 〒426 藤枝市大手1-28-4 電(0546)41-5381

## 清水シースカイ Aグループで優勝

「さわやか杯」に参加して  
清水シースカイ 遠藤 和子  
「お母さん、今度の日曜日、予定は?」  
と長男が聞く。すかさず、「また、二男が、『またか』と二男が、私のかわりに答える。  
「さあ、よく試合があるんだね。」  
今度も優勝するように頑張つて。ぼくたち適当にやってるからさ。」  
と、小学校一年生の三男が、わかつた様な顔をして言う。  
こんなやりとりの中で、少しは『日曜日遊べなくて、わるいなあ』と思いつつ、『さあ、やるぞ!!』  
写るよう頑張らなくっちゃ」と、ファイトを燃やすのです。

私達クラブは週二回、二時間余りの練習時間で頑張っております。今年の西部地区予選で、Bグループの三位に入賞し、県大会のキップを手に入れる事が出来ました。Bグループへ入りまして、何事も一段上のチームばかりで、苦戦しております。今回の県大会を目指し、自分達の力をどこまで伸ばす事が出来るか楽しみです。皆さんのチームの胸を私達のチームに借して下さい。

61. 9. 7  
体40  
館チム  
薙29  
東チム  
中部20  
西部チム

## さわやか杯争奪

### 第10回記念 静岡県家庭婦人バレー部連盟大会

61. 9. 7  
体40  
館チム  
薙29  
東チム  
中部20  
西部チム

『さわやか杯』に参加して

清水シースカイ 遠藤 和子  
「お母さん、今度の日曜日、予定は?」  
と長男が聞く。すかさず、「また、二男が、私のかわりに答える。  
「またか』と二男が、私のかわりに答える。

「またか』と二男が、私のかわりに答える。  
「またか』と二男が、私のかわりに答える。

コーラさんからの参加賞も、楽しみの一つです。「去年のバッグは末っ子にあげたから、今年のウエストバッグは、『男にしましょ』などと考えながら、「ああ、やっぱりママさんバレーなんだな」と妙なところで感心しているのです。

毎年「さわやか杯」の季節が近くなると、体力の衰えた分、気力でカバーしようと調子を整えはじめます。家中の協力と理解があつて、私の楽しいママさんバレーは続きます。

さわやか杯県大会にむかって

豊田町クラブ 上原佐代子

今年はAグループに入れて頂きました。初めてのAグループでチーム全体戸惑いは大きなものでした。でも相手の胸を借りて、チーム一丸となつて思いきりプレーをして、一セットでも取る事が出来ればと思い燃えて頑張りました。しかしAグループの壁は厚く、そう簡単に勝てるものではありませんでした。でも来年は県大会へ出場出来る様に、そしてこれからも明るく、楽しく、いい試合をしていける様に頑張りたいと思います。

で、チームのポジションをしっかりと把握してくれるチームメイトです。私が出来、親身になつて考えててくれる友達の輪も大きく広がり、スポーツをやっていて良かったとしみじみ感じます。

高台クラブ

さわやか杯十回も迎えますと、当然の事ではありますが、年々若くて上手なママさん達が増えてきた様に思われます。そして、どのチームもとても気合が入つており、優勝を目指しているのがわかり、さわやか杯の重さを感じさせられました。

私達高台クラブも、さわやか杯には七回参加する事が出来、昨年は西部地区大会Bグループ準優勝という事で、今年はAグループに入れて頂きました。初めてのAグループでチーム全体戸惑いは大きなものでした。でも相手の胸を借りて、チーム一丸となつて思いきりプレーをして、一セットでも取る事が出来ればと思い燃えて頑張りました。しかしAグループの壁は厚く、そう簡単に勝てるものではありませんでした。でも来年は県大会へ出場出来る様に、そしてこれからも明るく、楽しく、いい試合をしていける様に頑張りたいと思います。

# 記念表彰



## 特別賞

(最高年令者 54才)

江川クラブ 安達千枝子

さわやか杯、第十回大会特別賞を頂きました。さわやかと喜びと共に、この賞のもつ意味と、今後バレーボールに対する自分の姿勢とを心新たに考えさせられました。この賞は私一人が頂いたのではなく、江川クラブ皆さんの賞を私が代表して頂いた、何にもまさる嬉しい賞だと思います。

年だから若い人の足を引っぱってはいけないと思い練習を休むと、チームの人々に『どうしたんですか、どこか悪いのですか、出て来て下さい、淋しいですよ』お世辞にせよ親子ほど年令差のある私を誘つて下さる人達の為に、少しでもお役に立つならと思い、のこのこと出掛けに行つて叱咤激励して帰ることのできる楽しさ、これもすべて思いやりあるチームの方々のおかげと感謝しております。

今後は、ブレー面ではついていけなくとも、コートサイドで心の支えになれるよう、精いっぱい頑張り、若い人の目標となれるよう、何時までも努力していきたいと思います。このような意義深い賞を頂き誠に有難うございました。

さわやか賞



長泉クラブ 北山 久代

週一回の練習に、日頃のストレス発散にい汗を流します。

バレーボールは中学の時から、高校・会社・婦人とずっと続けてきました。その間、全国青年祭・家婦全国大会と幸運にも出場させて頂きました。そこで、花やかなアッカーニに比べて、いつもチームの縁の下の力持ち的存在のレシーバーとして地味ではあります。が、私にとっては楽しい事の多いバレーボールでした。

この度、協会の方々の心温まるご配慮によつて、「さわやか賞」という素敵な賞を頂きました、本当に嬉しく思つております。

今後も、この賞を励みとし、尚一層努力し、家庭でも、バレーボールでも、「さわやかママさん」として頑張つていきたいと思います。

開北クラブ 入月セツ子

さわやか杯十周年記念の想いもしなかった賞をいただき、本当にありがとうございました。

さわやか杯十周年記念の想いもしなかった賞をいただき、本当にありがとうございました。

沼津原クラブ 山中 陽子

第十回の記念すべき大会で、さわやか賞を頂き光榮に思つております。

私がママさんバレーボールを始めて、早十四年になります。この間、色々な地区の方達との交流も出来ました。又この十四年間の練習や試合に出かける時に、『頑張つてこいヨ』の主人からの一言。特に最近では体力的に衰えを感じている時だけに、気力を奮い立たせてくれます。私が思いきり、ボールを追い、汗を流せるのも、家族の協力の上だと、今この賞を頂き感謝の気持で一杯です。

これからも体力の続く限り、『頑張つてこいヨ!!』の言葉を期待しつつ、バレーボールを愛していこうと思っております。

清水シースカイ 中沢三代子  
バレーボールの楽しさに魅せられて、もう

自分の年を忘れて、今日まで若い人達に負けない気力だけは十分です。本当に今までがんばってきて良かったと思つております。

又このたびの賞で私達チーム選手及びレシーバーにとつて、地味なプレーであつても、私がいたいたことで、とても張り合いができたと、大変喜んでおります。

これからも、若い者に負けぬよう、又お手本になり、チームの中心となり、チームをさわやかに、又きびしさを忘れぬよう、がんばつて行こうと思つております。

子供達が大きくなつていくのと同時に、私も

もバレー・ボールと共に年を重ねてきた様に思ひます。厳しければ厳しい程に、夢中になつて練習に励むことができた頃が、懐かしくさえ思える様になつてきました。そんな時、こ

うして賞をいただきましたことはとても嬉しいことでございます。

家族と、そして監督、コーチの先生、そして何よりもチームの素晴らしい仲間がいてくださったからだと思います。それぞれの人達に、いつも支えられ、励まされてこれまでがんばつてくることができました。今の気持ちを大切にし、いつまでもバレー・ボールに楽しむことができましたら、どんなにか幸せだろうと思つております。

#### 向敷地クラブ A 兼高 貞子

私が表彰される？一瞬信じられなかつた。つい最近、全国大会でよい結果が出て、ほんとうに幸せを感じている今、又、二重のよろこび。

考えれば、よく続けられたものです。『好き』には違ひなかつたけれど、よいチームメート、信頼できる責任者のおかげで、情熱を失わなかつたからだと思います。

近ごろ身体の切れが少々悪くなり、自分自身に気合を入れての動きですが、それでも評価してくれたのですから、まだまだ白球を追い続けて行きたいです。「半端でなかつたな」と理解を深めてくれている家族のためにも。

これからも力を合わせて、楽しく、そして一回

でも多くさわやか杯に出場出来る様、がんばつていきたいと思います。

#### 豊田町クラブ A 兼高 貞子

Aグループで決勝まで進出してとても嬉しく思っています。一步一歩前進して行ける様に全員で努力している成果だと思います。

私自身バレー・ボールの経験はなかつたのですが、少しでも上手になりたい、又お互いに励まし合つて続けてきてもう十年になります。この度思いもかけず賞を頂きまして、これもチームの皆さんのお陰と感謝しております。ありがとうございました。

#### 豊田町クラブ B 金井とも子

でも多くさわやか杯に出場出来る様、がんばつていきたいと思います。

#### 入江同好会

斎藤 靖代

特別賞を思いがけずいただくことができましたこと、厚くお礼申し上げます。

早いもので、私達の入江同好会も『さわやか杯』の十年目と同じく、来月結成十年を迎えます。その節目とも言うべき記念の年に受賞できましたことは、本当に嬉しいことです。

これは私個人に与えられたものではなく、日頃、一生懸命練習に励んでいるチームの皆に与えられたものと思っております。

これからもチーム向上の為、又家庭婦人バレー・ボール発展の為、心身共に健康でいられる限り頑張つていきたいと思います。



豊田町クラブは週一回の練習ですが、チー

#### 豊田町クラブ B 金井とも子

金井とも子

試合後、役員の方から「さわやか賞に選ばれたので残つて下さい」と言われ、「えっ⁈ 私が……」と驚きつつ、その反面長い間、バ

レーボールをやって良かつたとれしさが込み上げてまいりました。家に帰つて早速、主人と娘に賞品を見せびらかした程です。

振り返れば、私のバレー・ボール歴も長いもので、中学・高校・実業団・家庭婦人バレーと自分の年も忘れてしまつ程熱中して来ました。今では、健康の為、又、人との触れ合いの場として楽しんでおります。おかげで沢山の方々と知り合う事が出来、健康面でも病気一つせず毎日楽しく過ごしております。

豊田町クラブは週一回の練習ですが、チー

#### 磐田神明クラブ

山下 裕代

さわやか杯というこんな大きな大会に出場し、賞を頂くなんて、まだ夢の様で信じられません。主人の理解がなかつたら、きっとこの賞も頂いていいなかつた事でしょう。

この事は私の一生の思い出になり、そして、これから練習、試合での大きな励みになり、自信になるでしょう。

神明クラブのみなさんと共に、チームワークをモットーとした、大きなクラブチームになるよう、一生懸命頑張りたいと思います。神明クラブのみなさん、これからもよろしくお願いします。





•さわやか杯争奪•  
→ 静岡県家庭婦人バレー ボール大会・

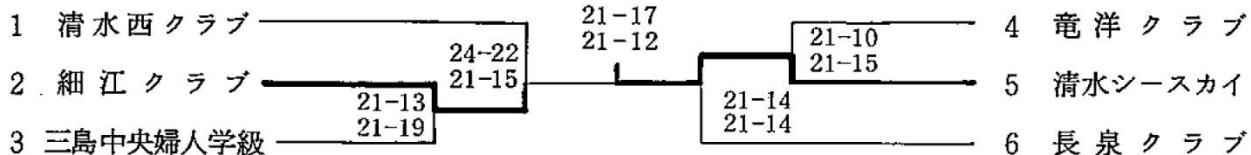
県大会

★成績結果★



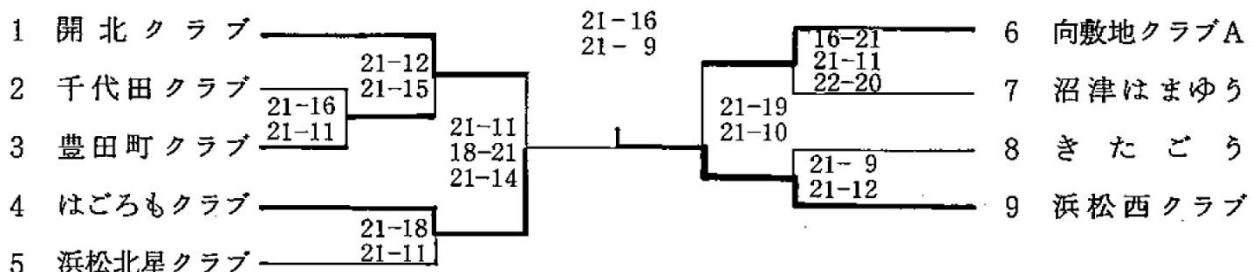
Aグループ

優勝 清水シースカイ



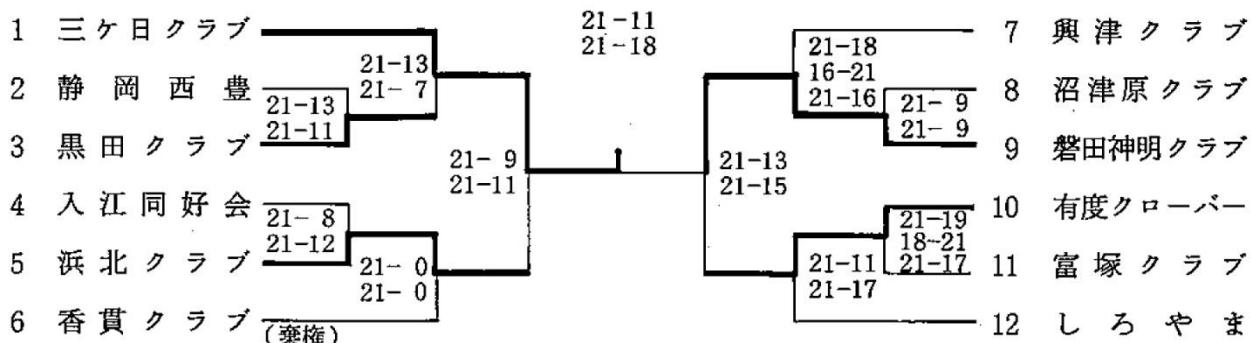
Bグループ

優勝 浜松西クラブ



Cグループ

優勝 三ヶ日クラブ



最後に、お手伝い下さった役員の皆様や、  
諸先生方、有難うございました。

チームに帰つて、今日はこういう教室で思  
い出させてくれた事をやろう、といつて基本  
を忘れてします。思い出させてくれるの  
はこういう教室です。

人達との教室は、何回かは参加した事もあり  
ます。今回は東部地区での教室だったので、

五月十三日、沼津市民体育館において「さ  
わやかバレー ボール教室」が開催されました。  
講師には、中村先生をはじめ、元オリンピック  
クメダリストの深尾、森田（旧姓）両選手を  
迎えて、直接指導を受けました。  
レシーブとアタックに別れての基礎練習を  
約三時間有余のコーチを務めて下さいました。  
日頃、チームの監督や、コーチにもいわれて  
いるところ、オーバーパスの大切さを改め  
て感じました。厳しさの中にもユーモアもあ  
り、とくにメダリストとともに汗を流し、楽  
しいひと時を過ごせたことは実にすばらしい  
ことだと思いました。

さわやかバレー ボール教室に  
参加して  
61・5・13 於沼津市民体育館

裾野クラブ 後藤 歌子

五月十三日、沼津市民体育館において「さ  
わやかバレー ボール教室」が開催されました。

はじめての顔の人が多く、知らない人と参加してやる事も良い事だと思いました。

アタッカー、レシーバーにわかれていったのもはじめてなので、こういうやり方もあるのだなあと思いました。

バレーはすばやく、ていねいに、正確にボールをおくつてやるという事、良い事を学びました。役員の方々の御苦労、心から感謝致します。どうもありがとうございました。

### ◆ 我がチームの横顔 ◆

清水西クラブ 星 長子

試合前になると、監督の指示は決まって、「家族の健康管理（特に子供の）に気を付けよう」の一言です。健全な家庭、家族の理解あってのバレーと話、子育ての会話がいっぱいです。

バレーは勿論、その中から人生の一部としてヒントになる事もいくつあるものです。そして試合当日。

勝つ為にはやはり、ひとりひとりのミスをなくし正確なプレーをすることが目標です。ユニホームを着てコートに立った瞬間、家庭も忘れ、全身で燃え、さわやかなマナーとプレーで頑張ります。

### ◆ 担当理事雑感 ◆

西原 弘子

五月二十五日曳馬付設体育館で八チームに

より西部地区予選が行われました。  
私が担当理事になり、大会までに参加チー

ムの集計、組合せ、体育館の備品（ネット、アンテナ、審判台、得点板）等、大会当日スムーズに運営が出来るよう準備をいたしました。

今回、参加チームの申込みが〆切近くなつても集まらず、忘れてはいないかと連絡したり、出場も依頼しました。代表者の方々も人集めに大変ご苦労して下さいました。全国大会は中学校区でまとまつたチームしか参加できないのも少なかつた理由だと思います。

来年は県の登録が多くなるよう努力したいと思います。

初めての担当で心配しましたが、皆様のご協力で無事に終ることが出来ました。本当に有難うございました。

### ◆ 県選手権大会（予選）に参加して ◆

富塚クラブ 川口 雅子

秋晴れの素晴らしい日を迎えて、西部地区予選の開幕だ。強豪チームの中で我が富塚クラブは足元にも及ばない。開会式の時、初戦チームの棄権を知る。不戦勝。三つ出来ると思つた試合が二つになつてしまつた。益々点数のとれない試合を連想する。チーム全員、どうせ勝てない相手だからとひらきなおり、それがかえつてよい結果となつた。

やつた！ 全然とれないと思つた点数も十四点もとれた。びっくりしたね。全く。富塚チームやれば出来るのだ。それとも相手の手

ぬきかな？ 出来なかつた試合が無性にやりたい衝動にかられた。

小学校の運動会と重なつた人もおり、一往復もして試合に参加してくれた。嬉しかった。この責任感、これがバレーをやる心ですね。だつた。もっと参加チームがふえ、多くのバレー仲間と勝敗を越えた喜びを分かちあいたいと思った。

竜洋クラブ 鈴木 倍子

「スポーツの秋」あちこちの学校、保育園で運動会があり、それにぶつかり主力選手三名が子供の運動会、私も夏に捻挫した足が完治せず、申込みはしたものの中止しようか、やめようか、最後まで迷いましたが、県大会の出場権だけでも得ようと何とかメンバーを集め試合に臨みました。

結果は準優勝でした。ちぐはぐなプレーもありましたが、主力選手を欠いてよく頑張りました。草薙での県大会にはベストメンバーで臨めるよう心掛けて行きたいと思います。今大会では当日棄権されたチーム、メンバーや集めにかなり苦労されたチーム、選手だけで補欠のないチーム、運動会の会場からかけつけた選手等々……いろいろな問題点があつたような気がしました。

九月下旬の運動会シーズンということで、参加チームが少なく淋しい気がしました。来年は盛大な大会になるよう期待します。

# 第17回 全国家庭婦人バレーボール大会

61. 7. 31~8. 3  
於 東京駒沢体育館 他

## B組準優勝 向敷地クラブ A

主将

鈴木富美子

全国大会には大勢の皆様方の  
応援、有難うございました。

今考えてみましても、東京に行  
ったことがまるでうそのよう  
です。

全国大会に出場するというの  
は、夢のまた夢だと思っていた  
ので、現実に出場できることに  
決まった時は、すごくうれしか  
ったです。

あの時の感激は一生忘れられ  
ないと思います。  
でも、日が近づくにつれて、  
とても大変なことになったと同  
時に、恐ろしくなってしまいま  
した。私達のチーム以上の強い  
人達ばかりでしょうし、一勝も  
できなかつたら、どうしようか  
と、毎日そんなことばかり考  
っていました。でも、私達にはと  
ても大切なチームワークがある  
のではないか、と思い、それで  
頑張つてみようと心に決めまし  
た。それが試合にも十分にで  
たと思います。長い間一緒に練

習してきた仲間と全国大会に行けたことは、  
とてもうれしいことでした。

そして、東京では、すばらしいプレーをた  
くさん見ることができて、これからの練習の  
ための良い勉強になりました。

十年前の私からは、このようにエースと  
して全国大会や他の試合に出ることは考えら  
れないことでした。

レシーブの人達に比べ、目立つことが多く  
て申し訳ないと思いますが、これからもでき  
る限り頑張つて行きたいと思います。

細谷みつ江

予選から闘志を燃やして試合にのぞんだ甲  
斐あつて、静岡市では初めての県代表となり  
「バレーをやって本当によかつた」と思いま  
した。又このように順調にやってこられたの  
も、応援して下さった方々のおかげだと思いま  
す。親善試合で二つとも敗け、ベンチにも  
どつた時、何の雑役の苦労もなく試合にのぞ  
むようまわりの人達が気を遣つてくれたのに、  
と思ったら胸が一杯で涙が出てしました。

忙しい毎日を送っている人達が、明日は東  
京まで応援にきてくれるのに、どんな試合に  
なるか、あれこれ考えましたが、本番に良い  
試合ができる本当によかったです。

大会を運営する人々、応援して下さった皆  
様方、大勢の人達の心遣い本当に有難く、感  
謝の気持でいっぱいです。



山崎 陽子

チームに入くて一年経つたばかりで、全国  
大会に出場できました。コートのお・  
へそのポジションも、正直いって重荷でした。

私は私なりに負担を感じながら、一つ一つ  
の試合を勝つことができました。コートのお・  
へそのポジションも、正直いって重荷でした。  
大会に出場できましたことは幸運でした。  
精神面共に未熟な私を励まし、支えてくれ  
た、責任者、チームの皆様に感謝の気持で一  
杯です。

夜、宿に帰り、一年前からの自分を振り返  
り、ここまで引っぱってきて下さったチーム  
の人達、何もかも忘れて、ただ勝ちたいと念  
じた県大会……ここまできたのだから、強気  
にならなくては、自分に負けたらダメだ!!明  
日の試合は声を出そう!声を出そうと自分に  
いいきかせ、次の日、本試合に挑みました。  
試合が終って、チームメートに「今日は声  
が出ていたよ」「安心して見てもられるよ」  
といわれた時は、ああ良かったと胸のつかえ  
が取れたように、すっきりしました。

あの時の気持を忘れないように、これから  
も頑張つてやっていこうと思います。

全国大会に出場して、チームワークは大切  
な事ですが、私自身、その前に自分に負けた  
らダメだという事も、よくわかりました。

若林 和子

バレーボールを始めて十余年、何も出来なかつた私も、良き指導者に恵まれ、今年思ひがけない全国大会出場の一員にさせていただきました。

県大会で優勝した時の喜び、その後の大会が近づくにつれての緊張、とても複雑な気持でした。

駒沢公園の段々を登り体育館が見えた時の感激、夢ではない、本当にここに来たのだと援団の人達のお顔を見た時は感無量でした。あの時の感激は一生忘れる事はないでしょう。

この良い思い出を得たのも連盟役員の方々、他のチームの皆様のご協力があつたからと感謝しております。本当に有難うございました。

竹下 佳子

クラブの人達との出逢いで、スポーツの素晴らしさ、楽しさ、チームとしての規律の大切さを知り、それは自己中心で我儘者の私のいくらかの成長につながったかと思つております。数々の試合の勝敗によろこんだり、落ち込んだり、経験が積み重なり、夢であつた全国大会に出場でき頑張った甲斐がありました。

今、子供も甲子園を目指して一生懸命です。一足先に念願を果した私に、きっと続いてくれる事と思っています。

本当に素晴らしいバレー、これからも出でる限り頑張って行きたいと思っております。

## //ケガ//するな

全国大会を目前にして、仕事で親指にケガをしてしまった。神経的に疲れていたせいかも知れなかつた。

これを知った清水飯田の草ヶ谷さんから、「大事をひかえて十分に気をつけるよう。ケガは台所でもするから、なるべく包丁を使わないで丸のまま煮る。葉っぱ類はきざまず、ちぎって出す」との大変有難いご宣託を受けた。それから我が家は食卓は、大きっぽになつたようだが、

「おかげで無事で大会に臨むことが出来た。」

## レフリースクールに参加して

岩松クラブ 望月 富子

レフリーというものの重要さを改めて認識させられた講習会であった。ルールブック第6条1、主審は、その試合運営における最高責任者であり……という文字がずつしりとした重みをもつて実感される。

七月十二・十三日と焼津青少年の家で行われたレフリースクールは、宿泊を伴うなかなかに厳しいものであった。

一日目開校式後、午後七時から九時半まで審判上の心得から始まりルールブックとらめつこの二時間半は、参加者九十一名、それこそ真剣そのものであった。特にサーブ順を間違えた時の処理の仕方は、発見時によつて幾通りもあり、実際の場面では的確な判断と機敏な行動が要求されるであろうと痛感した。

## 二日目は午前中なおもルールブック精通のための読み。こんなに熟読したのは初めてである。

午後からは港小学校体育館へ移動しての実技講習。ボールが床へついた瞬時の吹笛のむずかしさ。判定は後からと判つてもつい頭の中で考えてから吹笛してしまう。腕も笛も思うように動かないもどかしさ。講師も生徒も汗みくの充実した一時であつた。極めつけは、八月二十四日のテストである。午前中厳しい筆記試験。午後はもつと恐ろしい審判台上での実技試験。何十年ぶりかに味わう緊張感であった。しかし、レフリーの道も奥深く、さらに意欲をかき立てられる講習会でもあつた。

細江クラブ 金子すず子

審判をした日は頭が重くなる。大袈裟かもしれないが運動をして疲れた時とちがう疲労状態に陥る。緊張する事が負担になる。この状態から脱出するには、より経験を積み、目を養い、ルールの精通しかないと想い参加致しました。仕事を終えてからの開講にもかかわらず、九十数名の参加で会場は満員でした。

講義が始まると鉛筆や赤ペンがルールブックに走りました。ルールの解説では、各条文ごとに質問の時間が与えられ一つ一つしっかりと把握できました。質問も経験を積んでいる方から実践的な意見のやりとりが多く、初心者の私にとっては新しい吸収の喜びと共に、責任の重大さに少々氣後れした次第でした。

二日目の午後は、吹笛、ハンドリング、ポジ

ショニング、線審、総合の実技講習がありました。プレイヤーが上手になれることはあります。ここでのホイッスルは小さくなってしまいました。

立派に主審を務めた方々から「満足のいくホイッスルが吹けない」との声を聞きます。これは自分が正しく吹きたい、もっとより高いレベルに自分を磨きたいという表われでしょ。最前列に席を並べ受講する先輩達の姿勢を見て、これこそレフリとしての責務を果たすための姿勢ではないかと肝に銘じた次第です。

この二日間、受講生の意欲的で謙虚な態度が私の頭から離れませんでした。少しずつではありますがあ、回を重ねる毎に正しい吹笛ができるよう私も努力したいと思います。



## ★ 本年度 県大会成績結果 ★

|         | 1 位     | 2 位     | 3 位   |
|---------|---------|---------|-------|
| 真田杯     | 清水西クラブ  | 清水シースカイ | 島田クラブ |
| 全国大会県予選 | 向敷地クラブA | 静岡観山マミー | 板妻クラブ |
| 選手権大会   | 清水シースカイ | 長泉クラブ   | 榛原クラブ |

### 県選手権大会に出場して

榛原クラブ

八年前、全国大会出場を果たして以来、ペテラン選手の後退にともない、目標が定まらず、思う様な成績がとれませんでした。しかし新しい選手達が入部し、やっと心が一つになり、今回念願の東海四県出場を果たす事が出来ました。

拾いまくって勝った対函南戦、我が榛原クラブが苦手とする竜洋クラブに勝てた喜びと自信を胸に、選手一同、県代表にふさわしいプレーで、頑張って来たいと思っています。

### 第13回 東海家庭婦人バレー・ボール大会

会期 日 昭和61年10月26日(日)

会場

岐阜市 NTT岐阜体育馆

県代表

長泉クラブ

準優勝

榛原クラブ

第三位

度は出場できない規定に該当する清水シースカイの代表三名は、可愛らしいお子様連れで早朝より、優勝杯返還のため姿を見せてくれ、終日、長泉クラブ、榛原クラブのために声援をおくってくれた。

決勝戦は愛知の強豪、岡崎クラブと対戦した長泉クラブ。二対一で惜敗こそしたものの攻撃に守備に実力を充分發揮し

た感動の試合を開してくれ、惜しくも第三位となつた榛原クラブも、久しぶりに若さ溢れるさわやかな試合を見せてくれた。

### 編集後記



● さわやか杯も今回、十回を数え、コカ・コーラ様も丁度百周年を迎える例年にも増してお心づかいをいただき、恒例の最年長者におくる「特別賞」に加え、東・中・西の各チームから三名ずつ、計九名に「さわやか賞」を下さいました。

ともすればアタッカーの陰になるレシーバーが脚光を浴びたことは、大変意義ある事だと思います。

● このところ、各チームのレベルアップが目ざましいので、審判技術もおくれをとらぬよう県協主催のレフリースクールに連盟からも三十名泊まり込みで参加、その勉強の内容と感想が寄せられました。よりよい試合をする為にも審判を人まかせにしないで、みんな研修会には進んで参加して下さい。

● ソウルでのアジア大会、プロ野球の優勝戦、日本シリーズ、大事な政治・経済より多くの人達が関心を持ち話題を提供、スポーツの興奮と感動を堪能させてくれました。見るスポーツの楽しさに加えて、私共はみずからやるスポーツを持って幸運を深くかみしめたものでした。

(滝本)